

《二〇二四年度 第一回試験 国語》解答例

- 一
- ① めがね ② いた(めない) ③ きざ(む)
④ 臨海 ⑤ 起死 ⑥ 営み ⑦ 垂れる (2点×7)

- 二
- 問一 1 ア 2 エ 3 ウ (2点×3)
問二 オ (3点)

問三 食肉生産に大きな環境負荷がかかることと、ある程度の知能をもったほ乳類を殺して食べることが許されるのかということ。【56字】 (6点)

問四 ① 協力 ② 共感 ③ 人間らしさ (3点×3)

問五 (1) 他人どうしの協力体制によって食料の生産と分配が効率化して、栄養が足りている状況。【40字】 (6点)

(2) エ (5点)

問六 (例) 野良猫にえさやりをする「やさしさ」が、鳴き声による騒音や、フンで周囲の家の敷地が汚れる等の問題を、多くの地域で生んでいる。 (8点)

- 三
- 問一 1 イ 2 オ 3 ア (2点×3)

問二 白杖歩行の練習を始めた佑くんを応援したい一方で、あせりや心細さを感じている。【38字】 (5点)

問三 息(が合わない) (2点)

問四 (1) ・双葉と母では、歩くリズムを合わせづらい(こと)。【19字】
・海風で前髪がみだれ、少しベタつき不快な(こと)。【19字】 (4点×2)

(2) 風や熱、音によって感じることでできる海辺の自然に心がおどったうえ、不登校の自分を外に連れ出そうとしてくれた母の気遣いに対して感謝を示したいと思つたから。 (7点)

問五 エ・カ (3点×2)

問六 晴眼者へのおそれや信用できない気持ち。【19字】 (4点)

問七 ウ (5点)